

# モノづくり活性化研究会平成27年度活動成果

## 1. 企業支援「カン・コツ入り作業マニュアル作成による作業時間の半減化

### (1) 企業概要

- ・所在地：大阪市
- ・業種：金属表面の加工処理、金属ロール等の製造
- ・従業員：60人

(精密金属ロール)



### (2) 狙い

若年者（未熟練者）がベテラン（熟練者）  
なみの作業時間でできるようにしたい

### (3) 対象作業

「ロール研磨作業のチャッキングによる芯出し作業（準備）」

現状…ベテラン：12分 若年者（未熟練者）：25分→ベテラン並に短縮したい

### (4) 支援期間、メンバー

- ・支援期間：11ヶ月、7回訪問
- ・支援メンバー：モノづくり活性化研究会の3名

### (5) 支援内容

#### ①動画撮影立ち会い、指導

ベテラン2名、若手3名の作業をビデオ撮影、時間観測を行った

#### ②「カン・コツの抽出ミーティング」指導

ベテラン・若手で質疑、ディスカッションしながらカン・コツを洗い出した。

ベテラン・若手間のコミュニケーションがはかれたこともよかった。

#### ③「動画、カン・コツ入り作業マニュアル作成」指導

カン・コツを定量的に表現、比喩的に表現することなどを指導、

作業マニュアル（EXCEL）内の動画表示をクリックすれば動画が見れる。

#### ④若手作業者が作業マニュアルで自習、疑問点をベテランからOJTを受け、

作業短縮にチャレンジ、結果は（6）項参照。

(6) 作業時間半減化チャレンジ結果

目標 15 分

若手（未熟練）作業者	Mさん	Kさん	Oさん
ビデオ撮影（初回）	23分 24秒	25分 08秒	17分 14秒
チャレンジ結果	19分 56秒	12分 02秒	17分 49秒

Kさんは目標クリア、Mさんは15%短縮

今後、目標に向け作業マニュアルによる自習、ベテランのOJT、練習を積み重ね目標達成に取り組む。

(7) 企業の評価

- ①今まで手順の個人差があったが、作業マニュアル通りの手順で作業が行われ、作業時間も目標に近づいた。
- ②作業者の1人は日頃、ストップウォッチで作業時間を把握、意識が高くなった。
- ③現場のパソコンで作業マニュアルをいつでも見れるようにした。
- ④動画、カン・コツ入り作業マニュアルは非常に判り易く、作業者もよく見ており今回の取り組みは成功であったと評価している。

## 2. セミナー「待ったなしの技能伝承」の開催

### (1) 開催場所、日時、講師、出席者

- ・開催場所：東大阪市
- ・第1回：18:30～20:00（1.5時間）  
第2回：18:30～20:00（1.5時間）
- ・講師：モノづくり活性化研究会の2名
- ・受講者：第1回：27名  
第2回：14名

### 技能伝承セミナー

## 「待ったなしの技能伝承！」 第1回

≪大阪府中小企業診断協会 ものづくり活性化研究会≫

中小企業診断士 島本 昌一  
中小企業診断士 加藤 慎祐

### (2) 受講者の反響、アンケート結果

- ①受講者の満足度は「参考になった」以上の評価が多く、概ね好評であった。
- ②技能者は教えてくれないという講師の説明に共感している方が多かった。
- ③アンケートでは技能伝承の障害として「1人ではやり難い」という回答も多く、技能伝承に組織的に取り組んでいない企業が多いようであった。

## 3. セミナー「幹部・リーダーの育て方」開催

### (1) 開催場所、時間、講師、出席者

- ・開催場所：尼崎市
- ・時間：10:00～12:00（2時間）
- ・講師：モノづくり活性化研究会の2名
- ・受講者：7名

## モノづくりの要 幹部・リーダーの育て方

講師:モノづくり活性化研究会  
山下 勝正  
松島 清

### (2) 受講者の反響、アンケート結果

- ①「非常に参考になった」「良かった」が多く好評であった。
- ②「チェックリストによる能力分析（評価）が良かった」が多かった。
- ③「ケーススタディ、事例をもっと聞いてみたかった」の意見があった。

以上